

News Release



2024年9月26日
NITE（ナイト）
独立行政法人製品評価技術基盤機構
四 国 支 所

”ずぼら調理”が招く危険 ～トリセツをよく読んで「調理家電の事故」を防ぎましょう～

（四国地方における事故を中心に）

本資料は、製品評価技術基盤機構（以下「NITE（ナイト）」）が経済産業記者会、経済産業省ペンクラブ及び消費者庁記者クラブに対して行うもので、食欲の秋の到来に合わせ、時間効率を重視するタイムパフォーマンス（タイパ）志向の高まりをから手軽な調理家電を用いてできるだけ手間をかけない「ずぼら調理」が人気の高まりのある調理家電の事故について、四国地方4県でのその事故事例を補足的に紹介するものです。

1. 四国地方での事故

（1）年別事故発生件数と被害状況

2019年から2023年の間にNITE（ナイト）に通知のあった製品事故情報^{※3}のうち、四国地方4県（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）で発生した調理家電の事故は 11件ありました。また、9件が火災を伴った事故でした。

事故の被害状況では、15件の事故のうち「死亡」が0件、「重症」が2件、「軽症」が0件、「拡大被害」が3件、「製品破損」が6件です。

事故件数等の詳細については、年別事故発生件数を表1、被害状況別事故発生件数及び被害者数を表2、原因区分別事故発生件数を表3に示します。

なお、物的被害（製品破損又は拡大被害）があった場合、人的被害（死亡、重傷、軽傷）を伴っているのは、人的被害の区分での集計になります。

表1. 年別 調理家電による火災事故発生件数

		愛媛県	香川県	高知県	徳島県	合計
発 生 年	2019年 火災事故	0	0	0	1	1
	2020年 火災事故	2	0	0	0	2
	2021年 火災事故	1	1	0	1	3
	2022年 火災事故	0	0	0	1	1
	2023年 火災事故	0	0	0	2	2
合計		3	1	0	5	9

表2. 被害状況別火災事故発生件数及び被害者数

		愛媛県	香川県	高知県	徳島県	合計
被害 状況	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	0	1	0	1	2
	軽傷	0	0	0	0	0
	拡大被害	3	0	0	0	3
	製品破損	2	0	0	4	6
	被害無し・不明	0	0	0	0	0
合計		5	1	0	5	11
被害 者数	死亡	0	0	0	0	0
	重傷	0	1	0	1	2
	軽傷	0	0	0	0	0
	合計	0	1	0	1	2

表3. 原因区分別火災事故発生件数

		愛媛県	香川県	高知県	徳島県	合計
製品 に 起 因 す る 事 故	A: 設計、製造又は表示等に問題があったもの	4	0	0	0	4
	B: 製品および使い方に問題があったもの	1	0	0	0	1
	C: 経年劣化によるもの	0	0	0	0	0
	G3: 製品起因であるが、その原因が不明のもの	0	0	0	0	0
	小計	5	0	0	0	5
製品 に 起 因 し な い 事 故	D: 施工、修理又は輸送などに問題があったもの	0	0	0	0	0
	E: 誤使用や不注意によるもの	0	0	0	1	1
	F: その他製品に起因しないもの	0	1	0	0	1
	小計	0	1	0	1	2
G: 原因不明なもの (G3を除く)		0	0	0	3	3
H: 調査中		0	0	0	1	1
合計		5	1	0	5	11

(2) 四国地方において発生した事故の事例

① 2019年 12月、徳島県、90歳代・女性、拡大被害

品名：電気トースター

【事故の内容】

電気トースターを使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当電気トースターに付属の蓋をした状態で使用したことにより、加熱が継続して食パンが過熱されて出火し、当該製品に延焼したものと推定されるが、加熱が継続した原因が不明のため、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。

電気トースターに付属の蓋をして状態で使用した場合、異常加熱により調理物が発火する可能性があり、取扱説明書及び蓋の注意表示には、「使用時は必ずふたを取り外す。火災、やけどのおそれがある。」、「絶対に蓋を取り付けたままパンを焼かない。パンが発火することがある。」旨、記載されている。

② 2019年 11月、愛媛県、年代・性別：不明、拡大被害

品名：電気こんろ

【事故の内容】

事務所で当該製品の上に置いていた可燃物を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

身体等が当該製品のつまみに触れてスイッチが入り、当該製品の上に置かれていた可燃物などが燃えたものと推定される。

③ 2022年 1月、徳島県、年代・性別：不明、拡大被害

品名：IHこんろ

【事故の内容】

異音と異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。

【事故の原因】

IHこんろは、事故発生日の約2か月半前に、高さ70cmからフライパンを当該製品上に落下させてしまい、意図せずに電源が入る現象が発生していたが、そのまま使用を継続していた。事故当時は揚げ物調理後に電源プラグをコンセントから抜かず、底に凹みのある底幅が狭いステンレス製ボウルに調理油が入ったまま当該製品上に放置していたため、使用者が意図しないところで当該製品が作動して調理油が過熱され、事故発生に至ったものと推定される。なお、取扱説明書には、「揚げ物調理時は、底が変形していない平なべや底がへこんでいない直径16～18cmのなべを使用する。」、「油が少ない場合、油温が上がり過ぎて発火するおそれがある。」、「トッププレートに強い衝撃をくわえない。」、「使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。」旨、記載されている。

2. 事故の再現実験映像について

映像(動画・写真)をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+nite ロゴ」としてください。

(本件に関する問い合わせ先)

〒760-0023 香川県高松市寿町1-3-2 日進高松ビル5F

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 四国支所

担当者：下川、佐藤

電話：087-851-3961